

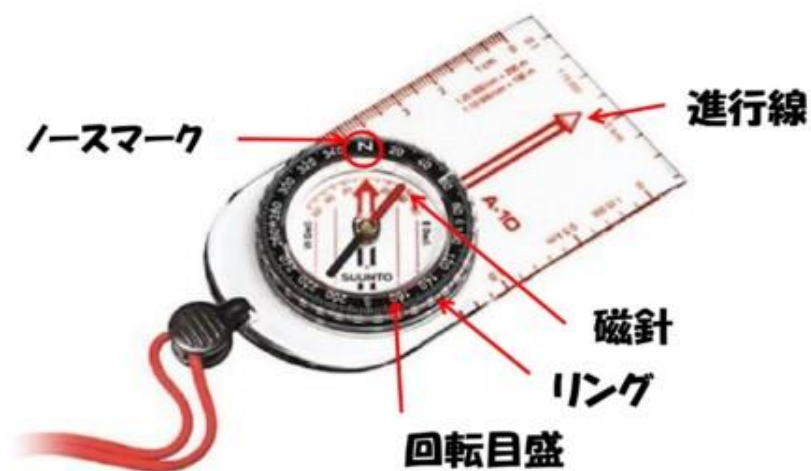
2 コンパスの使い方

「**地図とコンパス**」を必ず持って、山に行きましょう。と書いてある本がほとんどです。では、コンパスを使える方は、どれくらいみえるでしょうか？コンパスは、使い方を理解すれば、さほど難しいものではありません。

【プレートコンパスの名称】

まずは、プレートコンパスの名称を確認しましょう。

プレートコンパスの名称



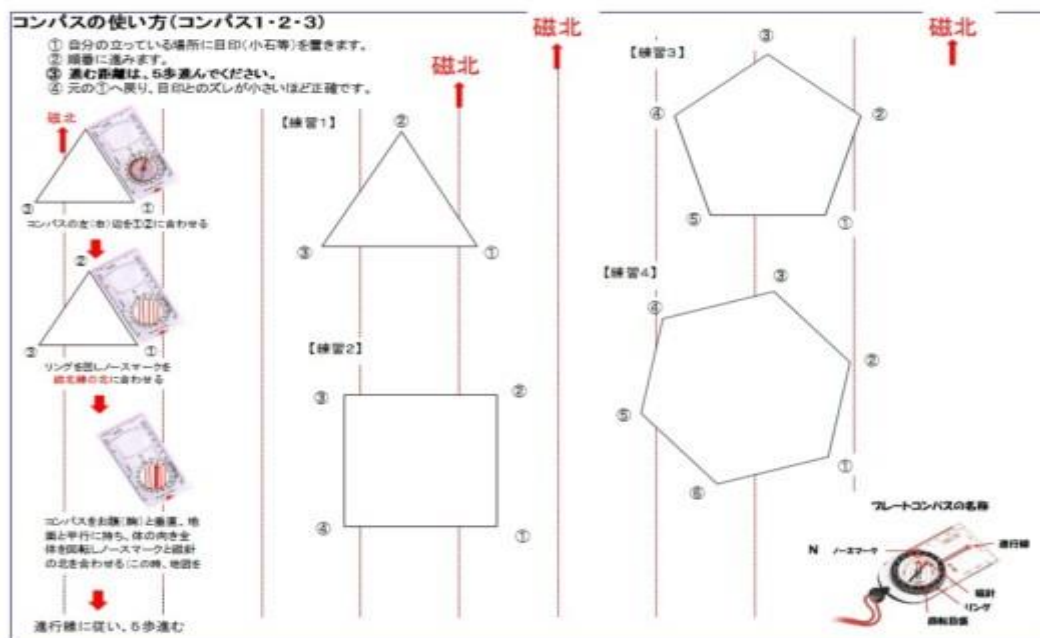
【コンパスの種類】

登山で使うコンパスは「**プレートコンパス**」というタイプのものが使いやすく、

初心者の方でも後述する「コンパスの使い方練習シート」を使って練習すれば自信がつくと思います。知識としてどんなコンパスがあるか知っておくのもためになると思います。

【コンパスの使い方練習シート】

コンパス操作の練習は、この「コンパスの使い方練習シート」を使用するのが分かりやすいと思います。最初は、三角形で練習します。次に、四角形、五角形、六角形の図を使って難度を上げていきます。1辺は5歩進みましょう。5歩だと短い気もしますが、まずは元に戻れると嬉しくなるので短い方がやる気ができます。その後、慣れてくると歩数を増やしてもよいでしょう。



【コンパス使用時の注意】

コンパスは、磁気を帯びている場所や持っている携帯電話等に微妙に反応します。練習シートを使って練習した時に、上手く戻れない場合は、こんなところにも注意してみましょう。

【コンパスの使い方を学ぼう】

コンパス使用時の注意点は？

①コンパスは水平に持つ



②磁気を帯びた物の近くで
使用しない



【質問（その１）】

例えば、登山の際、同じ道で往復する場合、往路 A→B が南→北となった場合、コンパスの N マークで合わせるのは判りましたが、復路 B→A は北→南になった場合も N マークで合わせるのでしょうか？それとも進行方向が南になる為、S マークで合わせるのでしょうか？

【解答】

常に北 N にノースマークを合わせるという単純なルールを原則にすると、とっさの場合や焦っている場合にも混乱がありません。また、指導者として伝えるときも単純で確実なルールを使うことをお勧めします。応用の場面では、ご指摘のような裏技も使いますが、しっかり意識して使わないと混乱します。また、道が単調に南方向と言っても、部分的に東や西に振れます。その時の左右と東西との対応でも混乱しやすくなります。余談）北半球での使用者人口が多く、そこでコンパス操作を行うことが多いため、ノースマークが基準として普及したと思われます。

いずれにせよ、とことん慣れた確実な基準をもつのが大切です。

Nマークはいつも磁北 に合わせるの？



【質問（その2）】

コンパスの使い方を指導しています。受講生の中にコンパスの北と南を逆にリングを合わせてしまうエラーをする受講生がいます。どのように教えたらいいのですか？

【解答】 コンパスのノースマークを磁北線の北に合わせず、ノースマークを磁北線の南側に合わせてしまうエラーがあります。これを私は「コンパスの南北エラー」と勝手に呼んでいます。これは、「コンパスのリング内の線を磁北線に平行に合わせる」と指導する場合に多く発生するように思います。

私は、「コンパスのノースマークを磁北線の北に合わせる」という言葉のみ使うようにしています。「リング内の線を磁北線に平行に合わせる」という指導方法に対し、受講生の方は「平行」にしているので間違った動作をしている

とは思っていません。

『平行』という言葉はあまり使わない方が南北エラーが起こらないような気がします。

【道の分岐でコンパスを使う】

コンパスの使い方の基本は、道の分岐で、どちらの方向に進んだらよいのか確認することです。この基本ができるからこそ、初めてのコースでも安心して登山をすることができます。

豊川山岳会一部抜粋